

まちづくり
戦略

4

個性あるまちづくり 地域ごとの歴史文化を生かした

中京区では、地域ごとに伝統行事が脈々と受け継がれてきたことで、まちに一体感が醸成され、地域のまとまりが生み出されてきました。また、かど掃き、打ち水等のくらしの文化や地域の伝統産業とも一体となり、京町家や「通り」が織りなす個性豊かな景観を形成しています。

こうした区民が愛着心をもって大切にしてきた歴史文化を未来に継承するとともに、地域の個性を生かしたまちづくりに取り組んでいきます。



① 歴史文化の再発見と継承

地域の歴史文化は、地域の誇りであり、地域の個性や特徴を体現しています。子どもたちが地域に息づく歴史や、くらしのなかに継承され根付いている文化を再発見し、身近に感じる機会をつくるなど、それらに愛着をもち、守り、育てるきっかけになる取組を行うことで、地域の歴史文化を次の世代へと継承していきます。

<主要な取組>

- 地域のくらしの文化に関する学習会やイベントの実施
- 親子で地域の祭りや伝統行事を楽しめる取組への支援
- 地域の伝統的な祭りやくらしを支える「木の文化」の大切さを学べる機会の創出

② 地域個性の再認識と発信

中京区の豊富な歴史文化は、長い年月のなかで多くの来訪者との交流により育まれてきました。こうした地域の個性を再認識するとともに、だれもが憧れ、移り住み、住み続けたいと思えるまちをめざし、その担い手や守り手を支援するとともに魅力を内外に発信する取組を推進します。

<主要な取組>

- 地域の文化資源を巡るまち歩きツアーの実施
- 元離宮二条城をはじめとする地域の歴史遺産や文化の担い手支援と魅力の発信
- 地域の魅力を発信する担い手の発掘と活躍の場づくり

③ 伝統産業の活性化

茶道や華道等の文化活動が盛んな中京区では、文化や芸術と密接に結びつきながら、日々のくらしのなかに伝統産業品が溶け込んでいます。区民が気軽に「作り手」である職人の匠のわざや心に触れ、伝統産業をより身近に感じる機会をつくることで、「ホンモノ」があるくらしを次の世代に継承していきます。

<主要な取組>

- 伝統産業を体験・見学できる工房見学ツアーの実施
- 現代の生活に伝統産業品を取り入れる実践例の発信
- 伝統産業を通じた環境問題の意識啓発の推進

④ 通りの復権による歩いて楽しいまちなかの創出

四季の移ろいを大切にするくらしの文化が根付く中京区では、「通り」はくらしや催事が営まれるひとびとが集い華やぐ舞台です。安心・安全、快適で魅力的なまちなかをめざす「通りの復権★」の取組を進め、区民はもとより訪れたひとのだれもが、歩いて楽しいと実感できるまちづくりを推進します。

<主要な取組>

- 「通り」やくらしの文化に関する情報の発信
- 地域の団体や学校と連携した「通り」の安全を確保する取組の推進

★通りの復権 P16参照

⑤ 景観を生かしたまちづくり

京町家等の建物や緑がある美しい町並みは、長い年月をかけて地域の歴史や文化と一体となり形成されてきた地域の財産です。各地域で行われてきた調和のとれた景観保全の活動に学び、先人たちの残した貴重な財産を次の世代に引き継ぐ取組を推進するとともに、まちの魅力や活力を高める新たな景観の創造をめざし、対話と協働のまちづくりを進めていきます。

<主要な取組>

- 地域景観づくり協議会の活動など、地域で展開される取組の発信
- 町並みを生かした景観まち歩きや文化講座など、地域の交流事業の支援



ココに注目!

戦略4 日々のくらしに彩りを!

この戦略を実現するには、ひとりひとりがお住まいの地域の歴史文化を日常生活のなかで「楽しむ」ことが重要です。

たとえば、節分、七夕等の年中行事や地域の祭りは今もわたしたちのくらしに根付いています。これらは、わたしたちが日常生活を送るうえで、季節の移り変わりを身近に感じ、より深く楽しむために欠かせません。

また、現在では伝統産業品は、特別な行事に用いられるものというイメージが強く、普段の生活ではあまり馴染みがないかもしれませんが、以前は各家庭で身近なものとして、日々のくらしのなかで使われていました。

地域の歴史文化や季節ごとの行事、伝統産業品の由来等を調べてみれば新たな発見があり、実際に参加してみたり、使ってみれば、日々のくらしがより深く、豊かで楽しいものになるかもしれません。

最初は、食卓に一輪の季節の花を飾る、献立に一品だけでも旬のものを取り入れる、地域の祭りに参加してみる、扇子を使う時には京扇子を選んでみるなど、歴史や文化を少しだけ意識し、日常生活のなか楽しく取り入れることから始めてみてはいかがでしょうか。

